

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	入居者の生活歴や心身の状況、有する力の把握が十分にできていない。	入居者一人ひとりのこれまでの暮らしや現状を把握し、入居者の希望や現状を把握し、入居者の希望や意向に副った毎日を送っていただく。	入居者の担当職員を決め、毎日の関わりの中から信頼関係を作り、状況を把握し、又職員会議等の場で共有していく。	3ヶ月
2	28	在宅ではなく、グループホームならではの介護サービス計画を作成し、効果的なモニタリングを行なう必要がある。	いきいきと生活感のある毎日が送れるようサービス計画を作成し、モニタリングを行い、目標を達成できるようにする。	担当職員、家族や本人との話し合いを行い、毎日の生活の中で、一人ひとりの目標を設定、体調を管理、向上させ、行事への参加や外出ができるようにする。	6ヶ月
3	8	自立支援事業や成年後見制度について理解できていない職員もいるので、学ぶ機会が必要である。	外部研修に参加し、得た知識を持ち帰り、内部研修を行い、職員のスキルを高める。	市や社会福祉協議会で開催する研修へ職員を参加させる。毎月の職員会議の場でテーマを決め、研修を行なう。	12ヶ月
4	43	入居者の中には運動不足とカロリーの摂りすぎから肥満体になっている方がいる。	適切な運動と食事のコントロールにより、体重を減らし、体調を整える。	毎日の散歩、レクリエーションや体操の声かけ、介助、誘導を行い、摂取したカロリーを消費させる。ダイエットのための食事指導を行い、食事摂取量や摂取する食物の管理や満足できるような工夫をする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。